

いーふらっとだより e-ふらっとだより

第 4 号



こんにちは！写真は1月に行われた「ゴミ出しルールについて学ぼう」の様子です。

当日は多数の参加があり、4月から、変わることについて、たくさんの質問をいただきました。

研修「ゴミ出しルールについて学ぼう」を開催しました

恵庭市では、平成22年4月1日より家庭ゴミにお金がかかるようになります。e-ふらっとでは1月19日と、26日の2回にわたり、研修「ゴミ出しルールについて学ぼう」を開催しました。市内の事業所、デイケアで活動しているメンバーやスタッフの皆さんなど多数参加するなか、恵庭市の生活環境部の方からゴミ有料化と、ゴミ出しルールについてわかりやすくお話していただきました。

参加した皆さんから、たくさんの質問をいただいたので、ここで要点を説明します。

ゴミを出すとき4月から新しいゴミ袋（燃やせるごみ用【黄】、燃やせないごみ用【青】）と粗大ゴミのためのゴミ処理券を使います。燃やせないごみ用の袋は目の不自由な方のため点字と見分けのための穴が空いています。

ゴミの分け方、ゴミを集める回数はこれまでと変わりません。ゴミの分別がわからなくなったら3月に配布される、ゴミ辞典で確認しながら仕分けができます。使い終わったライターやボンベはガス抜いて、割れガラス、茶碗、刃物は紙に包んで、燃やせないゴミの袋に「キケン」と書いて、処分します。

講師からのアドバイスとして、3月にすべての家庭にゴミカレンダー、ゴミ辞典と一緒にゴミ袋の試供品が配られるので、自分の家に丁度良いサイズのゴミ袋を見つけてほしいとの話がありました。またタンスなどの粗大ゴミや、大量の家庭ゴミはお金がかかるので3月末までに処分したほうが良いこと、ゴミ投げのマナーが悪くて困ることがあれば直接注意しないで市役所に相談してほしいということでした。

研修に参加して、ゴミはきちんと分ければ資源になり減らせることや、出し方は大きくは変わらないことがわかり、ゴミ出しについて再認識する良い機会となりました。（相内記）



e-ふらっとからのお知らせ



《2月以降の予定》

- 2月 8日（月） 13：30～15：00 自立支援協議会 第1部会（担当：相内）
- 2月10日（水） 13：30～15：00 自立支援協議会 第4部会（担当：熊田）
- 2月12日（金） 13：30～15：00 自立支援協議会 第2部会（担当：熊田）
- 2月12日（金） 15：30～17：00 自立支援協議会 第3部会（担当：相内）
- 2月13日（土） 13：30～15：30 本人・家族のつどい
- 2月23日（火） 18：00～19：30 えにわ精神・地域勉強会

○予定についてはホームページでも随時お知らせしますので、あわせてご覧ください。

編集後記

e-ふらっとだより 第4号はいかがでしたか？

今年3月で市からの委託の期限が来ますが、4月以降の委託も正式に決まりました。

これからも変わらぬお付き合いをお願いいたします。

今後の自立支援協議会や研修についての予定は、ホームページでもお知らせしますので、パソコンを利用できる方はそちらもご覧ください。

次回5号は5月にお届けできる予定です。お楽しみに！（相内記）

◎発行者◎

恵庭市障がい者総合相談支援センター e-ふらっと

〒061-1446 北海道恵庭市末広町155番地

電話：0123-33-8222

ファックス：0123-34-7744

メール：e-flat_syougai@bz03.plala.or.jp

ホームページ：http://eflat-syougai.com/

ふらっと

e-ふらっとスタッフが1人ずつみなさんに伝えたいことを各々書いています！

こんにちは！相談員の相内です。第3号でもお知らせしましたが、11月よりホームページを開設しています。パソコンでインターネットが使える方は、e-ふらっとだよりの、バックナンバーやお知らせ、活動状況についても見る事ができますのでぜひご利用ください。

さて、2/12～28の間、カナダのバンクーバーで冬のオリンピックが開催されます。テレビ観戦も楽しいですが、わが家ではオリンピックにあやかって（笑）親子で冬のスポーツにチャレンジしてみようかと計画中です。

皆さんの冬の過ごし方など聞かせくださいね！（相内）



遅い挨拶となりますが、皆さん今年もよろしくお願いします。私は昨年2週間、カナダのウィスラーに行ってきました。“カナダはボランティアを日常的に行っている国だよ”と知り合いに聞いて、ボランティアや福祉がどうなっているのか気になったのと、スノーボードをしたくて、行ってきました。

カナダに行くと、バンクーバー空港で送迎のスタッフを待つ私に、日本語のわかるボランティアの方が気軽にどうしたのと言ってくれたり、さいごには、“良い旅を”と声かけてくれました。滞在先のウィスラーではノンステップバスが走っていたり、小さなことでも“サンキュ”と声をかけてくれたこと、街自体がのんびりとして心地よかったです。また行きたい！！と思って帰ってきました。

人の温かさっていいなと改めて思った、本当に素敵な体験でした。長い休みをくれたセンターのスタッフの心遣いに感謝です。様々な人に出会い、色々なことを感じて、気づいて、これからも、過ごして行きたいなと思います。（熊田）



わたしと同年代の人のなかで、よく出る話題の一つに“吹雪”の話があります。

つまり、近年、吹雪が少ないのではないかということです。昔は、吹雪や猛吹雪の日が、もっとあったような・・・自分が子どもだったからそう感じただけなのかとも思いましたが、いやいやそれほど昔にさかのぼらなくても、吹雪はあったという意見も聞かれます。e-ふらっとを利用していただいている人の中には、自転車や徒歩の人が多くいます。そのため、自由交流の日が悪天候になると、来所する人が少ないような気がします。天候とe-ふらっとの利用率との関係とかも分析したら、相関関係があるかもしれませんね。でも、来所する人にとってもわたしたち相談員にとっても、お天気のよい日は歓迎です。春の日差しが待ち遠しい毎日です。（原田）



ふらっと活動状況

10月以降の3ヶ月間は、月ごとの相談件数に増減がありながらも、他の事業量の違いもあってか、“相談員の忙しさ感”には、あまりかわりがなかったように思います。

件数の増減はありましたが、利用実人数はそれほどかわりはありませんでした。

それは、1件の相談に、様々な方法で集中的に対応する必要があり、結果として、一人に関わる回数が多くなる相談があったのと、その月によって体調を崩して相談回数が多くなる人がいることなどによるものと思われます。

また、相談の傾向として、既存の事業や制度を利用するまでには至らないが、様々な理由で生活上の困難があるという方の相談が増えています。

その場合、経済的なことも具体的な生活支援のことも、これといった適切な対応機関がありません。

e-ふらっとで事情を伺って、なんとか解決策を見いだしていくことを目指して、お手伝いしているという状況です。

相談を通じて、市内において、生活支援事業、就労移行支援事業、地域活動支援事業などの不足を感じる事が多くありました。

